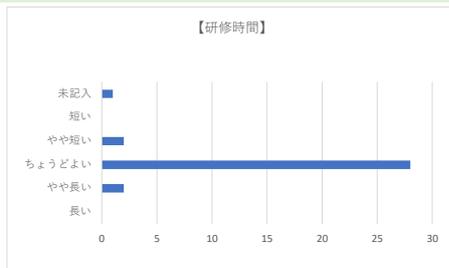


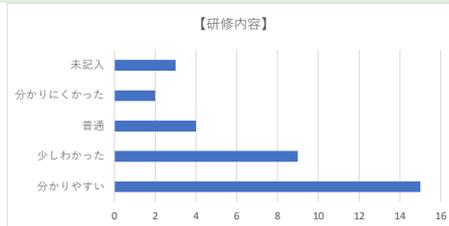
1、研修時間は如何でしたか

長い	0
やや長い	2
ちょうどよい	28
やや短い	2
短い	0
未記入	1



2、研修内容は如何でしたか

分かりやすい	15
少しわかった	9
普通	4
分かりにくかった	2
未記入	3

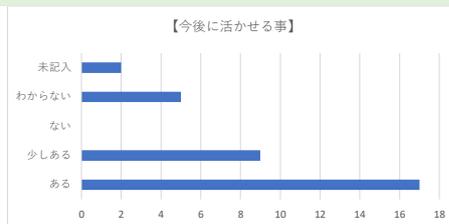


看取りケアを自分に置き換え、利用者さんへの対応を真剣に考えて頂きました。



3、今回の研修会で事業所で事業所で活かせる所はありましたか

ある	17
少しある	9
ない	0
わからない	5
未記入	2



○今回の研修で学んだこと・気づいたこと・印象に残ったこと等をご記入ください。

- ・看取りは自立支援の段階ではない。
- ・人生の最期をどのように迎えたいか、自分自身が考えることで利用者の立場に立って考える事ができた。
- ・延命処置をすることが、本人にとって苦痛に感じるんだなと思いました。
- ・これが自分じゃなくて、子供に起こったことだったらどんな判断をするのか考えさせられた。
- ・ある病院の集中治療室を初めて見た。こんな重装備とは知らなかった。多職種とのチーム連携が大切と思った。
- ・自分に置き換え考えたことで、ご利用者の気持ちなどが少しでも理解することができたことはよかったと思う。
- ・もう一度死について考える事が出来ました。利用者様一人ひとりに家族と共に考えていきたいと思いました。
- ・看取りは本人さんにも家族さんにも私達介護職員にも直面する事であり、看取りはとても大切な事だと感じました。
- ・自分に置き換えてみて、どのように最期を迎えたいか、それをケア対象の方に置き換えて、また元気なうちに確認するのも大事だと思った。
- ・本人の意思を普段の会話から聞いておこうと思った。
- ・私はまだ介護職に就いてから、半年ほどしかたっていないので、看取りや死の状況にあった事はありません。改めて考え意識する機会になりました。
- ・「看取りケアは自立支援介護の延長ではない」という言葉が印象に残った。
- ・安らかな看取りを迎えるために 事前に私たちにできること、変化に気づいてあげられる知識も必要だと思った。
- ・看取り期、ターミナル期の経過を再確認する事が出来て良かったと思います。
- ・人生の最期を自分ならどう考えるかを改めて考えさせられた、とても貴重な時間でした。本人が元気なうちに意志をしっかり聞いておくことが大切なんだなと思いました。
- ・看取り期は生命の穏やかさや安定を優先する事、介護職としては少しでも長く生きて頂けるよう無理にでも水分を摂って頂こうとしていたが、それが本人の望む事なのか良く考える機会になりました。
- ・自分の看取りについての意向を考えた時にGHの入所者さんはどうだろう？とリアルに考えることができた。
- ・実際に自分の最期を考えた時に利用者様も同じことを考えておられるんだなと気づかされた部分があり、日頃の仕事の中でも意識しながら関わりを持っていける様にしたい。
- ・他の施設の方の考えを聴く事ができとても参考になりました。
- ・足の指の色が黒くなってくると、お迎えが近いと言われたことが新しい気づきになりました。もっと入所者の気持ちになって

関わっていききたいです。

・死についての捉え方は一人ひとり違うため、どこまで考えても尽きることのない問題であると思います。そのようなことを考えながら話を聞かせていただきました。

- ・個人の意見も聞いておくとよい。
- ・看取りについて学んでよかった。息を引き取るまでの状態についても、少しわかったのでよかったです。看取りケアに対して不安があったけれど、少し不安はなくなりました。
- ・看取りの方向性が少しわかった。
- ・生命の穏やかさ、安定を尊重するケア、生命のサインに応じていく。
- ・自分の思っている（希望している）最後が、ご利用者さんにしていくケアだと思いました。
- ・終末期と看取りの内容が具体的にわかり、見極めを理解することができた。看取りケアについてもどのように行えば良いか改めて理解ができた。
- ・利用者様、家族様に何ができるのか再度考え、ケアできたらと思いました。
- ・話し合う事で人によって大切にしている事、感じていることが分かった。もう少し事例を深掘りできればよかった。
- ・看取り段階の対応方法、なかなか看取りの勉強や研修することがなかったのでためになりました。

○今回の研修を終えて、今後取組んでいきたいことをご記入ください。

- ・利用者さまの望む事が少しでも叶えられたら良いなと思った。
- ・平素から、意志や気持ちを確かめておくこと。「安らかな看取りを迎えるために」のパンフレットを活用していけたらよいと思いました。
- ・1人1人の利用者様に意思確認ができるよう支援していききたい。
- ・精神的ケアを大事にする。
- ・本人さんの状態に合わせたケアをしていききたいと思った。
- ・看取りの経験がない為今後の対応について学んだことを活かしていききたいと思います。
- ・この研修で学んだ事を取り組んで、看取りが大切な事を十分に知り本人さんの意思を尊重し家族の思いを取り組みながら看取りができるように努めたい。
- ・看取りとなった方の毎日24時間をどのようにケアしていくのかが学べたので活かしていききたい。
- ・看取りについて考える。ご利用者にどのような事をしてあげられるか考えていききたいと思いました。同時に家族、同居している母についても考えたいと思いました。
- ・利用者さんが看取り期に入られたら、今回のことを思い返していききたい。
- ・終活を迎えるご利用者様の気持ちも支える家族様の気持ち。チーム、ケアマネージャーとも事前にしっかり話し合い、私たちにできるケアを考えて対応できるようにしたい。
- ・今回得た知識を他の職員とも共有し、通常のケアの中にも活かしていききたいとおもいます。また、在宅における支援として、家族さんの思いも尊重しながら、ケアを実施したいと思います。
- ・利用者さんそれぞれの考えを日常の会話の中で聞いていけたらと思います。
- ・現在看取りに入っていられる利用者様がおられるので、今日学んだ事を職場で活かしていききたいと思います。
- ・入居者さんや家族さんと看取りについて話をより丁寧にしていきたい。
- ・利用者様の事を考えているつもりでも考えきれていない部分もまだまだある事を感じ、看取りも利用者様やご家族の思いを聞きながら、行っていけるようにしたい。
- ・日勤中、夜勤中でも、看取りは自然なことなので経過を尊重するとの事なので少し安心しました。
- ・介護職について、まだ3年目なのでまだまだ未熟なところがあるので、今の仕事をひとつひとつ丁寧に取り組んでいききたいです。
- ・他の職員に伝えたい。
- ・生命の自然な経過を邪魔せず、自然の生命過程を尊重するケアを、職員全員が考えられるようケア会議等で組んでいきたい。
- ・現在、老衰と診断された利用者がおられるため、参考にしたい。
- ・改めて本人が言っておられたことや、家族が言われたことを、きちんと記録することが大切だと思います。
- ・今後の看取りケアについて職員間で伝達し理解してもらい、再度一人ひとりのケアを見直していききたいと思います。
- ・本人様が苦痛なく、本人様の希望に添えるケア、本人様らしい生涯を送っていただける支援をさせていただきたいです。
- ・医療・ケアチーム・家族で話し合い対応していききたい。